

【島のくらしの情報】

大崎上島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<p>農業（かんきつ栽培の比率が高い）や漁業（島としては比較的少ない）の第1次産業、造船や非鉄金属業などの第2次産業、商業・サービス業などの第3次産業。これらの産業に従事する人がほぼ同率となっています。</p> <p>求人状況では造船所の他、最近では、高齢者福祉施設で働く人が多く求められています。</p> <p>* 求人の問い合わせ先：大崎上島町役場地域経営課 Tel0846-65-3123</p>
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<p>町営住宅が約300戸整備されています。島内に不動産屋がないため、移住希望者は町の空家バンクを利用している人も多くいます。比較的古い物件が多く、家財があったり改修が必要な物件もあります。</p>
<p>③医療環境の状況</p>	<p>島内に内科を中心とした医院4件、外科医院1件、歯科医院5件、その他月に2回、保健センターで耳鼻科診療所を開設しています。</p> <p>救急体制は島内医療機関への搬送後、重篤な患者については、救急艇や県のドクターヘリで本土の総合病院へ搬送が行われています。</p>
<p>④福祉環境の状況</p>	<p>老人保健施設1件、特別養護老人ホーム2件（デイサービス・短期入所も可）、グループホーム2か所、障害者福祉施設2か所。</p> <p>在宅介護サービスも充実しています。</p>
<p>⑤教育環境の状況</p>	<p>町立学校</p> <p>幼稚園2園（大崎幼稚園、木江幼稚園） 私立幼稚園1、認定子ども園1</p> <p>小学校3校（大崎小学校、木江小学校、東野小学校）</p> <p>中学校1校（大崎上島中学校）</p> <p>県立特別支援学校（三原特別支援学校大崎分教室）</p> <p>県立高校（大崎海星高校：普通科）</p> <p>国立高専（広島商船高等専門学校：商船学科・電子制御工学科・情報流通工学科、専攻科）</p>
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>水道は、本土（広島市）から海底送水管によって送水されています。下水道については島内の大崎・沖浦・明石地区で普及しています。またガスはプロパンです。</p>

⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）	本土の竹原港から、白水・垂水港へフェリーで約30分（1日32往復）、高速艇で木江港へ約20分（1日6往復） 東広島市安芸津港から、大西港へフェリーで約35分（1日16往復） その他四国の今治港の他、隣接する大崎下島、大三島からフェリーが出ています。
⑧島内の交通手段（費用、便数など）	島内交通は島を右回りと左回りに回るさんようバスその他、島内各地を網羅するおと姫バスがありますが、便数は十分ではありません。 タクシーは島内で3台です。観光には超小型モビリティの電気自動車をレンタルすることができます。また、アシスト付きレンタサイクルもあります。
⑨買い物場所・物価の状況	【買い物場所】 スーパー2、農協マーケット2、ホームセンター1、ドラッグストア1の他、個人商店多数。ガソリンスタンドは6軒ありますが、日曜日はお休みなので要注意。
⑩これまでの移住実績	ここ数年で約100人がIターン。若い人も多く、農業を営んだり、福祉施設で働いたりと様々です。
⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況	大崎上島の暮らしを体験していただくために、定住体験用住宅（トライアルハウス）を2棟整備し、7日～3か月の滞在ができます。また、NPOなど民間が運営しているお試し住宅もあります。定住・移住アドバイザーから島の暮らしについて話を聞くこともできます。【問い合わせ】大崎上島町役場地域経営課（☎0846-65-3123）
⑫移住にあたっての支援の状況	児童のいる家庭に対しては、児童手当の他、町の事業として修学前の児童1人あたり5,000円を支給する子育て支援手当があります。家を新築・改築する場合に助成金制度があります。
⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報	島に移住してきた人たちから、島の魅力などを言ってもらうことで、住民も誇りが持てるようになり、お互いに良い関係ができていく。